

月刊
まち・コミ
7月号

発行者：阪神淡路大震災
まち支援グループ
まち・コミュニケーション

1997年7月31日発行（毎月1回）
〒653 神戸市長田区御蔵通 5-5 兵庫商会 3F
TEL 078-578-1100 / FAX 078-576-7961

「まち・コミュニケーション」の活動報告

暑い日々が続く中、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

神戸も震災から3度目の夏を迎え、先日もマスコミ等で「神戸港の復興」が謳われ、「復興公営住宅の配給戸数」にメドがたったと発表され、「(やっと)仮設住宅居住世帯が3万戸を割れた」と報じられました。

つまりは仮設住宅だけで約2万9千世帯という莫大な数の方々がいまだに住まわれており、仮設以外で「避難生活」を送られている方々も数多くいらっしゃる訳で、さらに付け加えれば住宅再建相成った方や公営住宅に移られた方も、その多くが依然厳しい現実の中で生活を送られていると言ってよいでしょう。

「まち・コミュニケーション」がお手伝いしているここ長田区御蔵通も、依然3割満たない住民の方しかまちにいらっしゃらず、「人のいない」状態が長期化する事で、様々な状況に悪影響を与えてきています。

そんな中での「まち・コミ」の主な活動を簡単ながらご紹介いたします。

共同化住宅実現に向けて

御蔵通 5・6 丁目には、いわゆる「狭小宅地」をお持ちの方が数多くいらっしゃいます。平均 12 ~ 13 坪の土地には約 9 坪程度の宅地面積しかとれません。そのままですと非常に住みづらい



↑「ワークショップ」の様子

↓京都の共同住宅「Uコート」



住宅しかできません。

「共同化住宅」とは、再建の意思がある方々が集い、少しでも自己負担を軽くし、住みやすい環境を共に作っていく集合住宅です。現在その実現に向けて「まちづくり協議会」と共に支援しています。住民の方へのヒアリングをはじめ、専門家による勉強会や「ワークショップ」の開催、実際の共同住宅の見学会などのコーディネートなどを行い、事業化に向けての「準備会」の事務局を担当しています。「下町の良さ」を生かした、まちに優しい住宅を目指しています。

もくじ

- P 1
・活動報告
・共同化実現に向けて
- P 2
・「震災とは何だったのか」
報告
- ・御蔵学校開催のお知らせ
- ・御蔵のまちかど
- P 3
・神戸世相
(新聞より)
- ・仮設の窓辺から
今までご協力頂
いた皆さまへ
- P 4
・活動記録
「まち・コミ
今月も行く」
★編集後記

「震災とは何だったのか」

5月31日・6月13日・7月4日と3回に渡り、東京に於いて「震災とは何だったのか」と題し、「被災地の現状報告と検討会」を開催しました。東京のボランティアと多くの方々のご協力により計160名近くの方々が、現在東京にいらっしゃる日本銀行元神戸支店長の遠藤氏・NHK元神戸放送局長の塩見氏、神戸からは兵庫商会・田中氏・元神戸新聞編集委員の酒井氏・支援社の中辻氏のお話をお聴きいただきました。東京では今後有志による「まだやってるの神戸!」が中心に企画を作る予定です。(2・3回目の記録を実費にてお分けできます)



↑ 2回目の様子 (早稲田大学)

そして、「みくら夏祭り」「御蔵学校」

第3回みくら夏祭り
河内音頭盆踊り大会
御蔵通と丁白広場
8月5・6日
河内音頭盆踊り大会
御蔵通と丁白広場
河内音頭盆踊り大会
御蔵通と丁白広場

8月5・6日、「みくら夏祭り」を地元の方が中心となり開催いたします。今年は5日は津軽三味線の奏者・田中竹仙氏による演奏会、6日は恒例になりました河内音頭連合会による盆踊りです。

8月22～24日にはまち・コミ主催による「御蔵学校」を予定しております。「被災地の現実」をじかにご自身の目でご覧頂き、その経験・課題を各々の生活・地域に生かして下さればと思います。詳しくは別紙をご参照下さい。

第1回
御蔵学校
8月22日(土) 19:00～21:00
8月23日(日) 10:00～12:00
8月24日(月) 10:00～12:00
会場: 御蔵通と丁白広場
主催: まち・コミワークショップ

御蔵通と丁白広場
御蔵通と丁白広場
御蔵通と丁白広場
御蔵通と丁白広場

御蔵のまらかど



御蔵のまちは、まだまだ更地が広がっていますが、ひよいとその辺に視線を落とすと、あれあれ、なんか成ってるっ！イチゴだ！あれ、その横は？「きゅうりがそのうち成るよ」。

Kさんの奥さんは神楽小学校一年と幼稚園の年少さんになった二人の娘さんと近くに住むおじいちゃんとならば、毎日はせと手入れされています。6月はじめ頃からは、そのキュウリやナスがどんどん大きくなってきて、「さっちゃん、これ持って行きな」ともらったのは、Kさんの奥さん自身が作ったキュウリを使ったふるさと韓国味のキムチで、おいしいんだこれが。そして「どんどん成るから食べてばっかりでもう見たくない」。だから「ハイ」ともらったぶつとキュウリや熟れすぎたないトマトは味がとっても濃いです。

Uさんご夫婦は毎朝早くに起きられて、それこそ一年以上かけて作った広い更地の周囲に広がる花壇を一時間以上手入れされます。ここでも昨年とはひまわり、プチトマトはもちろん、スイカやカボチャも出来ていたという本格派。今年は、軒先のお手製ブドウ棚にもマスカットのような実が膨らみつつあります。

最近では3人娘さんのいらつしやるSさんご一家も花や野菜を育て始めています。子供の少ないこの地区に響く子供の声と、みなさんが育てる草花が、殺風景なまちを、さりげなくにぎやかにしてくれます。

区画整理でやがてこの花壇も無くならねばならない時もあるでしょうが、こんな空間がこれからのまちの中にも息づいていてほしいと思いました。



神戸世相～きのう・きょう～

◎被災者の救済・自立支援を目的とした「震災復興基金」の支援申請はわずか2割。神戸市支援枠組み再編検討(神戸 6.19) 4月15日現在、「住宅」「産業」「生活対策」「教育」など96にのぼる事業計画額に対して利用率は23.7%にとどまる。住宅に対する融資制度なども12.3%の利用率で、条件の厳しさなどがネックとなっている様子。

◎公的支援法案継続審議決まる(神戸 6.19) 市民・議員立法案が国会で継続審議となり結論は秋に持ち越されることとなったが、国土庁は難しい法案であるとコメント。どうなるかは不透明。

◎兵庫県内製造業は悪化、中堅・中小の復興遅れ、日銀神戸支店発表(神戸 6.26)

6月の全産業の業況判断ID(「よい」とする企業の比率から「悪い」とする比率を引いたもの)の6月の調査によると全国の主要製造業が改善しているのに比べて県内は悪化。復興関連投資に変わる新たな弾みが必要と同支店のコメント。

◎「個人住宅の耐震強化支援」の自治体増える。兵庫でも検討開始、現行法の穴埋め(神戸 6.24) 阪神の震災を機に、個人住宅の新築時により丈夫な作りに誘導する「高耐震基準」の策定に各自治体

仮設の窓辺から・・・ (まちコミ浅野)

6月19日、の集まりに参加した。当日は台風が迫っていることもあって参加人数は少なかったが(姫路の仮設住宅、りんくうやポーアイ第3仮設、藤原台や鹿子台をそれぞれまわるKさん、Oさん、Tさん、さん、すたあと長田のノブ、私)深刻な住民の方の状況が報告されました。現在、どんどんと仮設住宅から人が出ていって、自治会もうまく機能しなくなっている話が出ました。また新しく建つ被災者のための公営住宅ではなく、震災前から一般の入居者が入っている公営住宅の空き家に被災者として入った場合に、なかなかうまく仲間に入れてもらえずに、訪問をしていたボランティアに泣いて電話がかかってくるというようなケースも多いとのこと。

蓄えがなくなってきた人もいるが、深刻な状況でも生活保護の受け付けが難しくなっているということが実例を挙げて報告され「特に身ぎれいにしている女性の一人暮らしほどお金のない場合があり気をつける必要あり」との発言があった。

とにかくこの過渡期にあって、訪問するボランティアの苦悩は増して行く一方なのだということを痛切に感じ、改めて普段の自分の認識を問い返した。

のりだし始めている。基準に合えば住宅金融公庫の割り増し融資が受けられるというもの。

これまでご協力下さった皆さまへ!!

昨年4月より、何とか活動を続けてここまで参りましたが、これもひとえにこれまで陰にひなたに支えて下さった皆さまのおかげです。特に募金などとして協賛下さったり助成金を頂いたり、普段より運営で何かとご支援いただいている方・団体対しまして重ねて御礼申し上げます。

全国曹洞宗青年会
高山仏教会
神戸に宮城の七夕を飾る会
曹洞宗国際ボランティア会
天草の方々(熊本県)
BMW.Japn.Co
田中康夫
明星大学渡戸ゼミ
柳生俊夫(東京)
伊藤裕夫
長野県望月町商工会議所
日本財団

(社福)全国社会福祉協議会
(社福)長田区社会福祉協議会
(財)神戸市民福祉振興協会
阪神淡路ルネッサンス基金
(財)まちづくり市民財団
㈱電通総研
国際ロータリー第2660地区
箕面中央ロータリークラブ
㈱兵庫商会

※おまつりなどイベント協力等ここで載せきれなかった方については来号で掲載させていただきます

まち・コミも毎月行く!

SVAがいよいよ完全撤退したり、若い仲間が人生の節目を迎えたりの4月の始まりでしたが、共同化のための、ワークショップの準備や情報の収集、「震災とはなんだったか」の準備、事務所内の整理など、なんだかんだと3ヶ月もたってしまいました。暮れから関わっている、御蔵のまちの共同化の調整のお手伝いや、東京での連続講演「震災とはなんだったのか」の準備・開催が大きな活動でした。

- 4月
- 6日 小島先生、公団との打ち合わせ
 - 7日 役員会
 - 10日 SVA喜多村さん壮行会
 - 11日 共創共生センターについての話し合い
 - 19日 BMW. Japan 伊集院・伊藤氏、田中康夫氏来所。菅原保育園へ
 - 25日 共創共生センターについての話し合い
 - 26日 「公的支援を求めて」神戸弁護士会憲法施行50周年記念シンポジウム
 - 27日 共同化ワークショップ
(講師：千葉大学延藤教授)



- 5月
- 5日 共同化ワークショップ第2回 役員会（ひこばえ検討会）
 - 10日 西須磨まちづくり懇談会
本出版記念シンポジウム
 - 15日 共生共創センターについてのミーティング 仮設訪問の会
 - 16～ 神戸市による
 - 18日 御菅西地区計画個別相談会
 - 17日 神楽小学校高取山遠足の補助ボランティア参加
 - 19日 公団と打ち合わせ（小島教授・小野）
 - 20日 御菅西地区区画整理審議会
小野上京
 - 22日 市川氏壮行会
 - 23日 みくら5・6・7わが街の会
第一回ミーティング
 - 25日 白木蓮植え（小野）
 - 30日 シンポジウム「トラウマから復興へ」
 - 31日 「震災とは何だったのか」第一回

通信費カンパ・募金のお願い & 定期購読のおすすめ

現在、まち・コミュニケーションでは、活動に必要な資金への募金のお願いをしております。

現在私たちのグループは、台所事情は楽ではありませんが、活動に当たっては、通信費はもちろん、事務所運営維持費や消耗品費など、支出の避けられないものが多々あります。今後の被災地のまち復興のための活動への、ご支援をどうぞおねがいたします。

【郵便振替口座番号】00950-3-42788

【口座名称】「まち・コミュニケーション事務局」

また、この通信紙を継続的にお読みにになりたい方は、表の事務所連絡先までご連絡下さい。



編集後記

◆出す出すといってなかなか出なかった「月刊まち・コミ」ですが、やっと発刊となりました。

なにぶんにも人手不足ということでお許しを……。震災から2年半以上たって、何をどのように伝えて行けばよいのか、難しいなあ……。疑問・質問、あったらお便り下さい。（浅野）

◆とりあえずの発刊ですが、今後徐々に内容の充実をめめます。よろしくお願いたします。（小野）